



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月14日

上場会社名 株式会社ALiNKインターネット 上場取引所 東
 コード番号 7077 URL https://www.alink.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 洋人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼コーポレート部長 (氏名) 池田 直紀 TEL 03-5946-8779
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績 (2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	319	△15.3	134	△29.5	130	△29.3	130	8.0
2020年2月期第2四半期	377	-	190	-	184	-	121	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	62.18	59.48
2020年2月期第2四半期	61.99	-

- (注) 1. 当社は2019年2月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2020年2月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が当時非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2021年2月期第2四半期	1,532	1,417	1,417	1,286	92.5	92.6
2020年2月期	1,389	1,286	1,286	1,286	92.6	92.6

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 1,417百万円 2020年2月期 1,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年2月期	-	0.00	-	-	-
2021年2月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550 ~620	△31.2 ~△22.4	100 ~210	△73.5 ~△44.3	90 ~200	△75.4 ~△45.4	110 ~180	△60.9 ~△35.9	52.32 ~85.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2021年2月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	2,102,400株	2020年2月期	2,102,400株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	68株	2020年2月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	2,102,348株	2020年2月期2Q	1,952,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「未来の予定を晴れにする」を経営理念として、一般財団法人日本気象協会との共同事業である天気予報専門メディア「tenki.jp」を運営してまいりました。

収益面に関しては、当第2四半期累計期間においては1951年の観測開始以来、史上初となる台風の発生しない7月となるなど天候が安定したことに加え、新型コロナウイルスによる大手企業を中心とした広告出稿を差し控える動きにより、売上高が影響を受ける結果となりました。一方、費用面に関しては、開発強化のための人件費増加などにより売上原価が増加したものの、販売費及び一般管理費は全般的な見直しを行ったことにより減少いたしました。

この結果として、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高319,305千円(前年同期比15.3%減)、営業利益134,540千円(前年同期比29.5%減)、経常利益130,299千円(前年同期比29.3%減)、四半期純利益130,729千円(前年同期比8.0%増)となりました。

なお、当社はtenki.jp事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は1,532,291千円となり、前事業年度末に比べ142,333千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の積み上げ等により現金及び預金が252,948千円増加し、前払費用及び長期前払費用が生命保険の解約により107,919千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は114,993千円となり、前事業年度末に比べ11,673千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が24,113千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,417,297千円となり、前事業年度末に比べ130,659千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が130,729千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は92.5%(前事業年度末は92.6%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ252,948千円増加し、当第2四半期会計期間末残高は1,114,264千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は253,740千円(前年同期は17,098千円の獲得)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が189,035千円となり、売上債権の増加による減少額が28,043千円、前払費用及び長期前払費用の減少による増加額が107,885千円、法人税等の支払額が35,082千円であったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は469千円(前年同期は1,135千円の獲得)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が632千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は70千円(前年同期は発生無し)となりました。これは、自己株式の取得による支出が70千円であったことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

①環境面における影響

当上期の期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの業界で需要が減退し、経済社会全体に大打撃を受ける事態となりました。当社では、当初見込んでいたより新型コロナウイルス感染症による影響が長引き、それに伴い、当社主力事業であるtenki.jpにおいてもその影響を受ける事となりました。当メディアでは積極的な回遊施策を講じて雨雲レーダーや梅雨入り、梅雨明けページにおけるユーザー最適化を図るなどし、PV数は前年同期比並を維持し続けています。このことから第1四半期決算発表の時点では、業績における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微と見ていましたが、新型コロナウイルス禍の影響が長引くことで、市場全体として広告主の投稿意欲が減退した事により、2～3割の広告単価の下落が見られました。この状況は2021年2月期において、継続するものと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控える消費行動が見られましたが、tenki.jpにおいても週末の外出機会が減少したことに起因して天気情報を確認するユーザー行動が低下しています。加えてtenki.jpは、天気関連情報を取り扱う特性上、悪天候によりPV数を伸ばす傾向にあります。当期は現在まで天候の安定が見られました。1951年の観測開始以来、史上初となる台風の発生しない7月となり、未だ台風の国内上陸はない状況にあります。これは2008年以来、10数年ぶりの異常気象となります。このような環境下において、前述した通り積極的な施策を講じ、天候に頼る事なく、メディア本来の成長力を継続的に高めてまいりました。結果、前年同期比並のPV数を確保していますが、当上期においては前述の通り例年と異なる天候状況であったため、通常悪天候が良く見られる夏季においてtenki.jpのPV数についても比較的安定的な推移となり、例年と比較して天候によるPV数の押し上げ効果が見込めないという結果となりました。

引き続き、PV数向上に努めてまいりますが、広告単価の回復状況は経済環境全体に起因しており、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける事となるため、依然として見通しが不透明となっています。

②気象庁ホームページにおけるウェブ広告運用業務等委託事業に関する影響

当社は、気象庁ホームページにおけるウェブ広告運用業務等委託に関する入札において、2020年8月5日に落札し、現在業務委託を受けています。当事業は、期首に業績予想を発表した時点では計画に織り込んでおりません。また、気象庁は気象庁ホームページにおいて、広告掲載を実施する事は初めての試みであるため、慎重な協議を重ねながら事業を進めています。2020年9月15日に運用型広告を気象庁ホームページにおいて開始しました。しかしながら気象庁からの要請により、2020年9月16日より一時的に広告を停止しています。当事業における今後の展開については、現在も協議中となっております見通しが不透明となっています。

まず、①の環境面における影響については、今後の新型コロナウイルス感染症拡大における経済の回復状況や天候の状況により業績が変動する事が考えられます。状況が好転する場合としては、新型コロナウイルス感染症の影響が一服し、レジャー関連業界の回復を見込める状況、および台風や大雨などの悪天候がある程度発生した状況を想定しています。また、現状の新型コロナウイルス感染症の影響が続き、かつ、天候が安定した場合も想定して業績予想算出しています。

②の気象庁ホームページのウェブ広告運用業務等委託事業においては、今後の事業展開により業績の変動が考えられ広告掲載の再開時期や掲載する広告の形態の違いなどにより大きく変動する可能性を考慮して業績予想を算出しています。

以上の理由より特定値ではなく下方修正とした上でレンジ形式の予想としました。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,316	1,114,264
売掛金	167,187	195,230
仕掛品	4,320	-
前払費用	49,453	18,506
その他	28,397	6,187
流動資産合計	1,110,674	1,334,189
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	40,000	40,000
減価償却累計額	△20,644	△21,786
機械及び装置(純額)	19,355	18,213
工具、器具及び備品	516	1,149
減価償却累計額	△23	△228
工具、器具及び備品(純額)	492	920
有形固定資産合計	19,848	19,134
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	2,501
長期前払費用	205,402	128,430
投資不動産	71,868	71,868
減価償却累計額	△22,139	△25,635
投資不動産(純額)	49,729	46,233
その他	1,802	1,802
投資その他の資産合計	259,434	178,966
固定資産合計	279,283	198,101
資産合計	1,389,958	1,532,291

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,324	6,463
未払金	12,277	7,382
未払費用	16,193	11,356
未払法人税等	42,201	66,315
未払消費税等	15,910	12,870
預り金	8,236	9,295
流動負債合計	98,143	113,684
固定負債		
繰延税金負債	5,176	1,309
固定負債合計	5,176	1,309
負債合計	103,320	114,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	135,345	135,345
資本剰余金	170,561	170,561
利益剰余金	980,878	1,111,608
自己株式	△147	△217
株主資本合計	1,286,638	1,417,297
純資産合計	1,286,638	1,417,297
負債純資産合計	1,389,958	1,532,291

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	377,134	319,305
売上原価	46,318	68,175
売上総利益	330,815	251,130
販売費及び一般管理費	139,963	116,590
営業利益	190,852	134,540
営業外収益		
不動産賃貸料	1,486	262
その他	38	22
営業外収益合計	1,525	285
営業外費用		
不動産賃貸費用	3,880	3,878
上場関連費用	3,750	—
その他	329	647
営業外費用合計	7,959	4,525
経常利益	184,417	130,299
特別利益		
保険解約返戻金	—	58,735
特別利益合計	—	58,735
税引前四半期純利益	184,417	189,035
法人税、住民税及び事業税	61,026	62,172
法人税等調整額	2,366	△3,867
法人税等合計	63,392	58,305
四半期純利益	121,025	130,729

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	184,417	189,035
減価償却費	1,294	1,346
不動産賃貸料	△1,486	△262
不動産賃貸費用	3,880	3,878
売上債権の増減額 (△は増加)	△91,216	△28,043
前払費用の増減額 (△は増加)	14,661	30,913
長期前払費用の増減額 (△は増加)	-	76,972
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,270	3,139
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,107	△3,040
その他	△1,775	14,978
小計	102,938	288,916
利息の支払額	△102	△94
法人税等の支払額	△85,738	△35,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,098	253,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△632
投資不動産の賃貸による収入	1,486	512
投資不動産の賃貸に係る支出	△350	△348
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,135	△469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△70
現金及び現金同等物に係る換算差額	△227	△252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,006	252,948
現金及び現金同等物の期首残高	513,669	861,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,676	1,114,264

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、tenki.jp事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。